



第29回年次大会開催!!

『綱領を基本理念に産業政策を実現していく』

～One for all All for one～

印刷労連は2022年9月2日(金)に「第29回年次大会」を開催しました。今大会もオンラインを活用し、拠点を分散しての運用を採用しました。メイン会場を東京グランドホテルに設置し、埼玉、石川、京都、大阪に設置した会場および全国各地拠点とWebで繋ぎ、2022年度運動方針などの提案に対し、満場の確認を経て年次大会は終了しました。

穴戸中央執行委員長挨拶 ～すべては一人一人の熱意から始まる!～



第29回年次大会にご参加の
代議員、中央委員、中執のみな
さん、対面およびオンラインで
ご参集いただき、ありがとうご
ざいます。

今大会は、約3年前の2019
年10月25日開催の2019年度
第2回中央執行委員会確認にも
とづき、改選年を「定期大会」、
翌年は「年次大会」とし、毎年大
会を開催することにより「全構
成組織間のコミュニケーション
活性化を図り、連帯意識の向上
と組織の充実・強化に結び付けて
いく」としてきましたが、最初に予
定していた2020年の大阪での年
次大会は、コロナ禍により中央委
員会に置き換えたことから、よう
やく本年次大会が開催できる運
びとなりました。

日本で最初に新型コロナ患者が報告されたのは2020年1月16日であり、2年半以上が経過した今も、新型コロナウイルス感染症の影響は、多くの働く仲間にとって、引き続き厳しい状況に置かれています。私たちはこの現状を直視し、雇用の維持と賃金・労働条件の維持向上を図るべく、中小組織対策を重点に置き、運動を展開してきました。

また、コロナ禍の中、フェイス・トゥ・フェイスによる対話の重要性を再確認しつつ、オンラインを活用した様々なコミュニケーションのあり方を模索した2年間であり、今後の労働運動、日々の諸活動を考えるうえで重要な契機となりました。

組合員・構成組織・地方協議会・本部間の意思疎通において、リアルかオンラインかにかかわらず、お互いの熱意が実感を持って伝わり、運動・活動の結集力に繋がっているか、さらに、日々の取り組みの発信が組合員一人ひとりに届き、理解・共感・参加に結びついているかなど、総点検できたこの好機を活かす必要があります。

さらには、組合員の労働運動への参加意識の醸成、役員の人財確保と継承、男女平等参画の推進などについて、多くの組織において活動基盤の再構築が求められてきました。

しかし、コロナ禍の中で、労働組合・産別運動に対して大きな期待が寄せられているのも事実です。だからこそ、引き続きウィズ、アフターコロナを踏まえ、健康と安全を最優先に感染防止対策をしっかりと講じるとともに、リアルとオンラインそれぞれの特性を適切に融合した組織コミュニケーションを中心に日々の組合活動を展開し、その実績をもとに変化に対応した新たな労働運動のスタイルを確立し、職場にあっても地域にあっても、印刷情報メディア産業に集う仲間にとって「必ずそばにいる存在」となるべく、その位置づけをさらに高めていきます。

こうした状況のもと、2022年度の運動方針策定にあたっては、私たちの運動の不変の考え方である「綱領を基本理念に産業政策を実現していく」ことをスローガンとし、産業別労働組合の使命と役割、そして社会的責任を果たすべく、印刷情報メディア産業を取り巻く環境変化に対応した「印刷労連・産業政策」の再構築、および2021

年度の運動により明確となった「中小組織の労働運動の充実・強化」を主要テーマに取り組みを進めます。

なお、具体的な方針はこの後提起させていただきますが、ポイントとして、これまで取り組んできた運動をさらに深化させるとともに、再構築していく産業政策との連動を考慮に入れ、各専門委員会および地方協議会と本部が連携して取り組むよう策定しました。さらに次年度2023年度運動方針に向けて、再構築する産業政策の項目にもとづく方針策定も視野に、取り組みを進めていきたいと考えます。

また、広義の意味での世界情勢とのかかわりについて話をさせていただきます。ロシアによるウクライナ侵攻は、半年余りが経過した今も先が見通せない状況です。この間、多くの民間人が無差別に攻撃され、残虐な行為の犠牲となっています。命と人権を奪い、平和なくらしと雇用を破壊する暴挙を決して許さず、即時撤退と平和回復の実現に向けて、それぞれの立場から非難の声を上げ続けることが重要です。

同時に、ウクライナの働く仲間・国民の皆さんに寄り添う取り組みも引き続き求められており、今回取り組みました「連合・ウクライナ救援カンパ」については、印刷労連として457,720円を集約することができました。構成組織のみなさんのご協力にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

新型コロナウイルスによる国民生活や経済への影響が続く中、ウクライナ侵攻などの影響により、世界規模で不確実性が高まり、原油や原材料、穀物などの価格が上昇し、近年稀に見るあらゆる日用品の値上げラッシュにより、国民生活にも不安が生じています。

不確実性が増す世の中にあって、労働運動として、民主的な社会を守り、すべての働く者の現在と将来の安全・安心を確保するため、お互いに知恵を出し合いながら、道を切り開いていかなければなりません。

そうした意義からも、私たちにとって政治の取り組みは重要です。

本年7月10日投開票の第26回参議院選挙は、みなさんのご支援とご協力により、印刷労連推薦候補者の電力総連組織内である「竹詰ひとし」さんが見事初当選を果たすことができました。

今次「第26回参議院選挙の総括」は9月の連合中執で確認していきますが、維新の台頭、立憲の伸び悩みなど課題が残りましたが、国民民主党は比例で頑張りを見せ、昨年の衆議院議員選挙時の259万票を超える316万票を獲得しました。

私たちは、引き続き推薦議員に対する「印刷労連・産業政策」の実現に向けての要請行動および国政・行政への意見反映を進めてまいります。

すべては一人一人の熱意から始まります。

One for all All for one.

皆さんの活発な議論をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。ともに頑張りましょう。ありがとうございました。

以上

大会次第

1. 開会挨拶
2. 資格審査委員および議事運営委員選出
3. 資格審査委員会報告
4. 大会成立宣言
5. 議長団選出
6. 大会書記長選出
7. 大会書記任命
8. 大会議事録署名人任命
9. 中央執行委員長挨拶
10. 祝電・メッセージ披露
11. 議事運営委員会報告
12. 報告事項
 - 2021年度本部活動報告
 - 2021年度決算報告
 - 2021年度会計監査報告
13. 議案
 - 第1号議案 2022年度運動方針(案)に関する件
 - 第2号議案 2021年度繰越金処分(案)に関する件
 - 第3号議案 2022年度予算(案)に関する件
14. 退任役員表彰
15. 第29回年次大会 大会宣言(案)採択に関する件
16. 閉会挨拶



司会・開会挨拶
古賀副中央書記長



資格審査委員長
岡本代議員



議長
新井代議員



議長
阪口代議員



大会書記長
村田中央執行委員



議事運営委員長
鶴田代議員



メイン会場の様子



活動報告
大窪中央書記長



決算報告・予算(案)
細谷財政部長



会計監査報告
山口中央委員



運動方針(案)
穴戸中央執行委員長



大会宣言(案)採択
吉岡副中央執行委員長



閉会挨拶
佐藤副中央執行委員長

2022年度運動方針

1. 産業政策の再構築と印刷産業の発展

- (1) 産業政策の再構築
- (2) 印刷産業の社会的・経済的・政治的地位の向上と発展

2. 組織強化と組織力の向上

- (1) 中小構成組織の労働運動の充実・強化
- (2) 組織拡大

3. 総合的な労働諸条件維持向上の取り組み

- (1) 2023 春季生活闘争の取り組み
- (2) すべての労働者の立場に立った働く環境の実現

4. 男女平等参画・ジェンダー平等の推進

- (1) 運動方針への「男女平等参画・ジェンダー平等の推進」を明記
- (2) 連合「参画調査」への対応
- (3) 広報・アピール活動の展開
- (4) 連合「女性リーダー養成講座」等への積極参加
- (5) 推進会議の開催
- (6) 6月「男女平等月間」への取り組みの徹底
- (7) 三役組織の積極的取り組み
- (8) 男女平等推進委員会、女性委員会に向けたプロジェクトの設置

5. ニューノーマル(新常态)に対応した組織運営と人財育成

- (1) 各種機関会議・専門委員会
- (2) ブロック会議
- (3) 地方協議会代表者会議、構成組織代表者会議
- (4) 地方協議会青年代表者会議および研修会
- (5) 人財育成に向けた教育および広報活動
- (6) ウィズ、アフターコロナを見据えた規約改定
- (7) 本部および地方協議会における適正な予算配分と財政運営

6. 労働者福祉の向上

- (1) 労働金庫運動の推進と連携
- (2) こくみん共済coop運動の推進と連携

7. 組織の社会的責任と国際平和

- (1) 連合への参画と各種役員の派遣
- (2) 日本生産性本部および全労生への参画と各種役員の派遣
- (3) 富士社会教育センターとの連携による自組織の成長と人財育成
- (4) アジア連帯委員会との連携
- (5) UNI を中心とした国際組織との連携

2022年度予算(案)に関する件

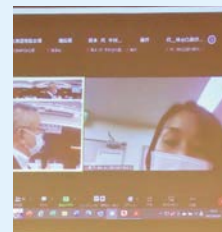
基本的な考え方

2021年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、対面とオンラインを活用し、各種活動を展開してきた。

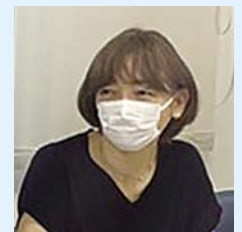
2022年度については、先行きの見えないコロナ禍において、変異株の猛威により第7波が到来している。一方で、政府はこれまでの感染対策をしっかりと行いながら、社会経済を循環させていくとして、行動制限を行わない姿勢を示している。従って、感染対策を万全に行うことを前提に、対面活動が遂行可能な予算策定を行う。



質疑・凸版印刷労組
高木代議員



質疑・凸版印刷労組
藤村代議員



質疑・大和印刷労組
児島代議員



満場一致で確認



石川地協会場(金沢)



関東南部地協会場(東京)



大阪地協会場(大阪)



関東北部地協会場(埼玉)



京滋地協会場(京都)

〈連合〉平和行動報告会 (in 沖縄・広島・長崎)

第29回年次大会終了後、平和行動 in 沖縄・広島・長崎の報告会を実施しました。参加者の中から「目にするもの、手にするもの、すべてが自分の経験したことがない世界で、実際に起きていたことを現地で学ぶことができた。参加されていない組織の方々に、自分の声で報告したい」という声もあり、それぞれの参加代表者から体験談と想いを伝えてもらいました。



トッパン・フォームズ
フレンドシップユニオン
田中央委員



ココヨ労働組合
古川代議員



リーブルテック労働組合
笹谷さん

〈連合〉平和行動報告 in 根室

連合主催の「2022平和行動in根室」は、9月10日(土)～11日(日)にかけて、2019年以来3年振りに現地の北海道根室市において開催されました。印刷労連派遣として5名が参加しました。

日本固有の領土である北方四島(択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島)が77年にわたり実効支配し不法占拠されている実情があり、故郷を追われた日本人住民の思いに触れて、改めて考えさせられる平和行動となりました。

1日目の「北方四島学習会」では、フジテレビ「北の国から」のスタッフが実話を原作に制作したアニメ映画「ジョバンニの島」を鑑賞しました。第二次世界大戦末期から終戦直後の色丹島を舞台にソビエト連邦(現ロシア)の占領に伴い激変した島民の暮らしを、とある家族の視点で描いています。その後、2人の元島民から「ふるさと北方四島への想い」と題して、故郷への想いと今後の不安を語っていただきました。

2日目の「2022平和ノサップ集会」は、納沙布岬の望郷の岬公園からライブ配信を併用して開催となりました。主催者挨拶として連合本部芳野会長、地元挨拶として連合北海道杉山会長、来賓挨拶として石垣根室市長等が登壇されました。北方四島周辺の水域は親潮(千島海流)と黒潮(日本海流)が交錯しているため、水産物が極めて豊富で、古くから世界三大漁場の一つに数えられています。

そのため、戦前、この水域では我が国の水産業が盛んでした。また、林業、魚類のふ化事業、鉱業、畜産業等も行われていました。現在は、ロシアによって、漁業、水産加工・缶詰製造業等が行われているようです。

北方四島は日本固有の領土であり、第二次世界大戦終結直後、ソビエト連邦(現ロシア)が侵攻し、1万7,291人の日本人住民が故郷を追われました。ちなみに、昨年9月における生存者は5,602人で、平均年齢は86歳を数えています。

今年に入りロシアのウクライナ侵攻の報道を目にすると北方四島を取り巻く環境も非常に困難な状況下にあると想像できます。また、ロシア外務省は9月7日(水)に北方四島への日本人とロシア人の相互訪問を可能にした「ビザなし交流」と元島民等が故郷を訪れることを認めた「自由訪問」に関する協定を一方向的に破棄すると日本側に通知しました。今回の破棄は、ウクライナ侵攻に対して経済制裁を続ける日本への報復措置とみられます。

このような厳しい状況にありますが、元島民の高齢化もあって、一日も早い領土返還と日ロ平和条約の締結することなくして真の平和はないと痛感しました。

水落 圭吾



退任役員表彰



今大会で退任された、ココヨ労組石山様 長い間ご活躍いただき、ありがとうございました。
【写真】表彰はココヨ労組の山野内執行委員長が代理で受け取っております。

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済	国際生命共済
火災共済	自然共済共済
総合生命共済	せいの共済
マイカー共済	印刷共済
交通共済共済	福祉印刷共済

こくみん共済 (金労済)

ろうきんは組合員のみならずのニーズに応えるために生活や家計をサポートする生活応援運動を展開し労働組合の自主福祉活動をバックアップいたします

労働組合 × ろうきん

組合員の社会的・経済的地位の向上

- 独自の生活・労働者の向上に資する生活応援運動
- 労働組合の自主福祉活動をバックアップ
- 財政的な影響・運用による経済的効果

ワークライフバランスの実現

セーフティネットの構築

組織の強化と拡大

生活応援運動

- はたらく人の生活に役立つライフイベントのサポート
- 労働組合の自主福祉活動をバックアップ
- 財政的な影響・運用による経済的効果

生活設計
生活防衛
生活改善

— 編集後記 —

最近、若者の間で使用される事が多くなった「タイパ」ってご存じですか? タイパとは「タイムパフォーマンス」の略で、費やした時間に対して得られた効果や成果、満足度を対比させた度合の事だそうです。例えば1.5倍速といった再生速度で映画やドラマを見る「倍速視聴」、楽曲の「イントロ飛ばし」、(私も時々やる時もあります)

そこまで無駄を恐れるのは、現在の若者たちが思春期を過ぎた社会が頻繁に「時短」「効率」を押し付けてきたからなのか。回り道は

無駄、そう唱える大人たちを見て、若者たちの価値観は形成されたと言われています。また、現在活躍している同世代の動向がSNSで否応なしに目に入ってくるので余計に「遅れをとった」と感じてしまっているのか、若者の時短視聴を後押ししている正体は何か、「可処分時間の増加」なのか、もっと知りたくなった今日この頃です。

教育広報委員会 勝又 紀智